

地域の読書ボランティア等への講師派遣事業

「発達段階に応じた子どもたちへの読書支援をめざして」

～美咲町読書ボランティア実行委員会～

1 事業のわらい

美咲町内で活動している読書ボランティアから、子どもたちの読書離れの傾向、現時点での活動のあり方についての悩みが寄せられている。そこで、本事業では、子どもたちの発達段階に応じてどのような支援が必要かに注目し、実際に活動されている方の実践の様子から学ぶことのできる研修会を開催した。

2 日程・会場・参加者

- ・ 実行委員会
 - 平成25年 8月30日(金) 美咲町中央公民館 8名
 - 平成25年 9月20日(金) 美咲町中央公民館 9名
 - 平成25年11月22日(金) 美咲町中央公民館 6名
 - 平成26年 3月12日(水) 美咲町中央公民館 13名
- ・ 研修会
 - 第1回目
 - 平成25年10月 7日(月) 美咲町立柵原図書館 32名
 - 平成25年10月23日(水) 美咲町立旭図書館 20名
 - 平成25年10月31日(木) 美咲町立中央図書館 14名
 - 第2回目
 - 平成26年 2月12日(水) 美咲町立旭図書館 7名
 - 平成26年 2月14日(金) 美咲町立中央図書館 15名
 - 平成26年 2月17日(月) 美咲町立柵原図書館 14名

3 事業の特徴、工夫点

- ・ 子どもの発達段階を乳幼児から小学2年生程度までと、小学校中学年から高学年程度をそれぞれ対象とした読書支援について2回の研修会とした。
- ・ 町内の3地区で同内容の研修会を日程、会場を変えて行った。それぞれの地域のボランティアの実情に合わせて参加しやすい時間を選んだ。
- ・ 町内保育園、小学校の教職員にも参加を呼びかけ、1会場では放課後の時間帯とした。

4 事前準備等具体的な事業の流れ

- ・ 美咲町図書館審議会において、読書ボランティアのスキルアップの必要性等、検討するなかで、研修会を企画することとなり、読書ボランティア実行委員会が発足した。幅広い年齢に対応した読書ボランティアを実践されている、おはなしグループ「そらきたホイ！」の相賀美幸さん、堀江潤子さんに講師を依頼、子どもの発達段階によって2回に分け、さらに同内容で3地域での開催とした。

5 研修会等の様子

〈柵原会場の様子〉



「子どもたちへの読書支援～発達段階に応じて～」

おはなしグループ「そらきたホイ！」 相賀美幸・堀江潤子さん

おはなしグループ「そらきたホイ！」による、子どもの発達に合わせた実践を紹介しながら、ボランティアのスキルアップを目的とした講座。全2回。

1回目には保育園の、2回目には小学校の教職員の参加も目立った。

参加者の感想

- ・ 読書支援ボランティアの目的が明確になったと思います。
- ・ 読み聞かせだけでなく、自分で本を読む段階を促すための支援の必要性を感じました。
- ・ 乳児に対して絵本をどのように与えたらいいかと悩んでいたのでもとてもいい話を聞き、参考になりました。



紙芝居を活用・・・



研修後感想を・・・

6 成果と今後の課題

本事業の研修会は、多くの読書ボランティアに意識改革をもたらし、また実際の活動についてのヒントを与えた。これまでの読み聞かせだけに限定された支援に幅や深みを加えることが期待できる。さらに、保育園、小学校の教職員の参加もあったことは、今後の園や学校での教育活動に反映されるだけでなく、読書の意味、読書ボランティアの役割についての認識を深め、連携を強めていくきっかけになるのではないかと。

この取り組みを地域に根付かせるためには、活動の継続が必要である。今後も、ボランティアの質向上、保育園、各学校、図書館との連携について図っていきたい。